

ミュージアム・トーク

in 久万高原

久万高原町のミュージアム（久万高原天体観測館、町立久万美術館、面河山岳博物館）の学芸員による異分野横断トークイベントです。第1弾では、プラネタリウムの夜空を背景に、星にまつわる美術と昆虫のお話をします。久万高原でしか味わえないアートと自然史のコラボをお楽しみに！

2024年1月20日（土） 14:30～15:50

※大雪などの悪天候の場合は延期になる場合があります

対象 ミュージアムやアート、自然に関心のある方（小学生以上）

参加費 一般 500 円、高大学生 400 円、小中学生 300 円
※三館入館証提示で無料

会場 久万高原天体観測館
(久万高原町下畑野川乙 488 番)

定員 20 名（先着順）

申込 QRコードを読み取って事前にお申込みください。
※電話によるお申込も可能です。

問合先 久万高原天体観測館（電話：0892-41-0110）



点と線による美術作品

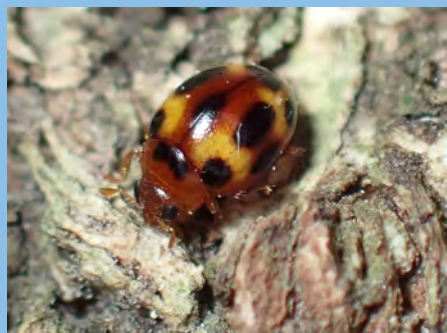
話し手：品川ちひろ（町立久万美術館）

星座は、星という「点」を「線」でつなぎ、そうしてできたかたちを何かに見立てます。

今回は、久万美術館のコレクションの中から、点や線が印象的な作品をご紹介します。



長谷川利行《カフェ三橋亭》制作年不詳



クロジュウニホシテントウ

星のある虫 テントウムシ

話し手：安田昂平（面河山岳博物館）

星座となった昆虫はいませんが、身近なテントウムシには「星」模様があります。黒や赤などの様々な色だけでなく、その数も実に様々です。模様をはじめとしたテントウムシの秘密についてお話しします。